



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携
○少人数・習熟度別指導、チームティーチング等を取り入れ、個別の指導・支援を行う。 ○対話的で協働的な学習を単元・教材に応じて取り入れる。 ○学校経営協議会と協力し、定期考査前の放課後や土曜日、長期休業中に学習教室・補充教室を開く。	○授業時数の確保を念頭においた教育計画を立て、実践する。 ○時間割の編成を工夫して、教科の偏りのない授業実践を行う。	○特別活動の充実を踏まえた全教員の授業力向上を目指し、共通実践、指導の工夫についての研修を重ねる。 ○対話的で協働的な学習活動が授業で実践できるように有効なICTツールの使い方について研修を重ねる。 ○各教科等の部会を充実させ、情報を共有する。	○年間指導計画を基礎にして、より分かりやすく、生徒のやる気を引き出す評価の在り方を探っていく。そのために、生徒や保護者による授業評価や学校評価を行い、教育活動に反映させていく。	○学校経営協議会と連携・協力し、家庭学習及び家庭教育を支援する。 ○学校経営協議会と連携・協力し、進路学習等で地域の教育力の援助を求める。